

## 6. グラフで見る2012年のデータ

## 2012年の解析結果のまとめ

### 1. 良性腫瘍の部位別登録数と登録割合

男性の良性腫瘍の登録数は7,524例であり、その中で最も多かったのは結腸4,695例（62.4%）で、次いで皮膚617例（8.2%）、胃530例（7.0%）、結合組織・軟部組織493例（6.6%）、直腸459例（6.1%）であり、結腸と直腸で良性腫瘍の68.5%を占めていた。（図1-1、表1-1）

女性の良性腫瘍の登録数は8,178例であり、その中で最も多かったのは結腸2,620例（32.0%）で、次いで子宮体部1,449例（17.7%）、皮膚901例（11.0%）、卵巣784例（9.6%）、結合組織・軟部組織503例（6.2%）であった。直腸は283例（3.5%）であり、結腸と直腸で良性腫瘍の35.5%を占めていた。（図1-2、表1-2）

### 2. 悪性腫瘍の部位別登録数と登録割合

男性の悪性腫瘍の登録数は11,599例であり、その中で最も多かったのは胃2,307例（19.9%）であり、次いで結腸1,746例（15.1%）、前立腺1,663例（14.3%）、肺1,090例（9.4%）、直腸844例（7.3%）であった。結腸と直腸を合わせた大腸がんの登録数は2,590例（22.4%）で、胃よりも多かった。（図2-1、表2-1）

女性の悪性腫瘍の登録数は8,807例であり、その中で最も多かったのは乳房2,019例（22.9%）であり、次いで結腸1,221例（13.9%）、胃962例（10.9%）、子宮頸部651例（7.4%）、肺591例（6.7%）、直腸463例（5.3%）であった。結腸と直腸を合わせた大腸がんの登録数は1,684例（19.2%）で2006年までは最も多かったが、2007年以降は乳がんが最も多くなっている。（図2-2、表2-2）

### 3. 二次保健医療圏別・部位別にみた悪性腫瘍の登録数・登録率（人口10万対）（図3-1、3-2、3-3、表3-1、3-2）

二次保健医療圏別に登録数をみると、男性では広島が5,327例で最も多く、次いで福山・府中1,467例、呉1,366例、尾三1,061例、広島中央663例、広島西652例、備北494例であった。医療圏不明は43例（全体の0.4%）で、昨年医療圏不明割合（2.1%）より減少していた。女性では、広島が4,034例で最も多く、次いで福山・府中1,195例、呉977例、尾三787例、広島中央576例、広島西417例、備北360例だった。医療圏不明は35例（0.4%）で、男性と同様に昨年の1.7%よりも改善されていた。

二次保健医療圏別の登録率（人口10万対）は、男性では呉が525.2で最も高く、次いで広島512.7、備北502.3と続いていた。福山・府中は325.6と他の圏域よりも低かった。女性では、備北が400以上、呉、広島が350以上と高く、広島中央、広島西、尾三が300以上、福山・府中が283.6と低くなっていた。

福山・府中圏域では、2010年まで多数の症例を登録している施設からの病理診断報告書に住所の記載がなく、その登録症例が医療圏不明として取り扱われたため、登録率が見かけ上

低くなっていた。しかし、2011年診断症例よりその施設から住所が記載されるようになったため、より正確な登録率に近づいたと考えられる。その他の施設でも、医療圏不明として扱われる登録症例の割合が概ね漸減しており、2012年の悪性・良性を含めた登録では、住所不明割合が0.9%で、昨年(2011年)の2.7%よりも改善されていた。

#### 4. 二次保健医療圏別にみた悪性腫瘍の登録精度 (I/M 比)

I/M (Incidence/Mortality) 比は罹患数を死亡数で除したものであり、地域がん登録(臨床登録)において登録精度(カバー率)の指標として用いられる。ここでは、罹患数を登録数に置きかえて、「登録数/死亡数比」をI/M比として考えて、参考値として算出した。国立がん研究センターが報告しているMCIJ2011 (Monitoring of Cancer Incidence in Japan) では、登録精度管理の指標として2段階の精度基準を設定しており、より高精度の精度基準AではI/M比が2.0以上、従来の精度基準Bでは1.5以上としている<sup>1</sup>。

二次保健医療圏別には、男性では広島、広島西、呉、備北で2以上であったのに対し、福山・府中では1.6と若干低かったものの、昨年(2011年)より改善しており、全ての医療圏で1.5以上を達成していた。女性では福山・府中(1.9)以外の圏域で2以上であり、登録精度は良好であった。(表4)

#### 5. 悪性腫瘍の部位別死亡者数と死亡割合

広島県における男性の悪性腫瘍死亡数は4,907人で、肺が1,122人(22.9%)と最も多く、次いで胃721人(14.7%)、肝臓607人(12.4%)であった。(図5-1、表5-1)

女性の悪性腫瘍死亡数は3,307人で、肺が504人(15.2%)で最も多く、次いで胃379人(11.5%)、肝臓339人(10.3%)であった。結腸と直腸を合わせた大腸がんの死亡数は441人(13.4%)で、胃を上回っていた。(図5-2、表5-2)

#### 6. 二次保健医療圏別・部位別にみた悪性腫瘍死亡数・死亡率(人口10万対、1985年日本モデル人口で調整)

二次保健医療圏別悪性腫瘍死亡数は、男性では広島が最も多く1,970人、次いで福山・府中946人、呉590人、尾三583人、広島中央341人、備北239人、広島西238人であった。死亡率を二次保健医療圏別に見ると、呉186.7が最も高く、次いで福山・府中185.8、尾三183.2、備北180.9、広島170.1、広島中央163.6、広島西161.7であった。すべての二次保健医療圏で肺がんの死亡率が最も高かった。(図6-1、6-2、表6-1)

一方、女性の二次保健医療圏別悪性腫瘍死亡数は広島が最も多く1,350人、次いで福山・府中616人、呉414人、尾三365人、広島中央244人、備北と広島西が共に159人であった。また死亡率は、二次保健医療圏別に見ると、福山・府中96.3が最も高く、次いで呉92.3、広島84.1、尾三81.2、広島中央81.1、備北75.2、広島西74.9であった。部位別には、広島、呉、尾三、備北で肺がんの死亡率が最も高かったが、広島西では膵臓がん、広島中央、福山・府中では乳

がんの死亡率が最も高かった。

なお、図表には示されていないが、結腸と直腸を合わせた大腸がんの死亡率が他のがんを上回っていたのは、女性の広島中央で、死亡率は11.5であり、乳がんより高かった。(図6-1、6-3、表6-2)

7. (参考) 広島県および全国の悪性腫瘍死亡数・死亡率 (人口10万対、1985年日本人モデル人口で調整)

広島県における悪性腫瘍死亡数は男性4,885人、女性3,281人、合計8,166人であった。悪性腫瘍死亡率 (人口10万対) は、男性では全国が175.7に対し広島県は177.6、女性では全国が90.3に対し広島県は87.2でほぼ全国のがん死亡率と同程度であった。主要部位別にみると、男性、女性ともに肝臓がんの死亡率が全国よりも高かった。(表7-1、7-2)

8. (参考) 悪性腫瘍の主要部位別登録数・登録割合の経年変化 (1993~2012年)

男性の悪性腫瘍登録数は、1993年の5,919例から2012年の11,599例と増加していた。全期間を通して胃がんが最も多く年間1,800例前後であったが、2006年以降にさらに増加傾向となり、2012年には2,307例になった。次いで、結腸がんは2003年以降年間1,300例前後であったが、2008年以降に1,500例を越え、2012年には1,746例になった。前立腺がんは1993年 (300例) から増加し始め、2003年から2008年までは約1,200例で推移、2009年から再び増加、2010年と2011年には結腸がんを上回り、2012年には1,663例になった。1990年代からの前立腺がん登録数増加は、1980年代半ばから前立腺がんのマーカーとしてPSA (Prostate Specific Antigen) が臨床的に利用され始めたことが影響していると考えられる。また肺がん、直腸がん、膀胱がんも登録数が増加傾向である。結腸と直腸を合わせた大腸がんの登録数は、概ね胃がんよりも若干多い程度で推移していた。全体に占める割合は、胃がんは約30%から約20%に低下していた。前立腺がんが1993年の5.1%から2012年には14.3%まで増加しており、登録数全体に対する割合が大きく増加していた。(図8-1、図8-2、表8-1)

女性の悪性腫瘍登録数は、1993年の4,645例から2012年の8,807例と増加していた。1993年から1997年までは胃がんが最も多く、1997年から2002年までは胃がん、結腸がん、乳がんが年間800例から900例と同程度であった。2004年以降は、乳がんの登録数が急激に増加し、2004年から2012年までで約2倍 (2,019例) になった。2000年代に入ってから乳がんの急激な増加は、ピンクリボン運動の推進やコアニードル生検の普及、2009年以降の乳がん検診無料クーポン配布等が影響していると考えられる。これは、非浸潤性乳管がん (DCIS: Ductal carcinoma in situ)<sup>\*注</sup>が、2003年の90例 (乳がんの7%) から2012年には260例 (13%) に増加していることから推察される。また、図表には示されていないが、乳がんの年齢階級別の登録数は、60歳以上で増加しており、高齢化の影響が示唆される。年齢調整登録率は、登録数と同じく、2000年代から急激に増加している。一方で、年齢調整死亡率には顕著な増加がみられないので<sup>2</sup>、乳がんの登録率の増加には、検診の普及や登録精度の向上による非致死

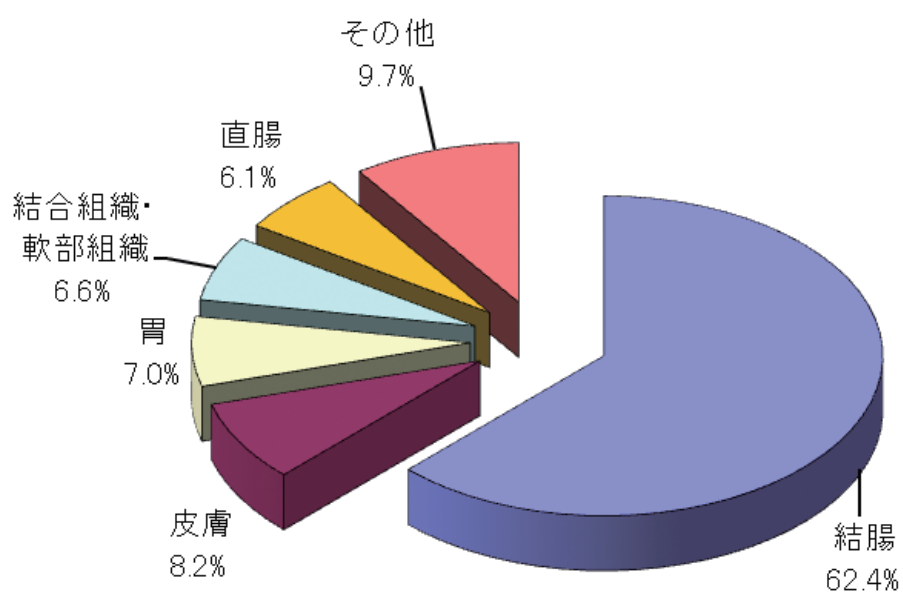
乳がんの登録数の増加が影響していると考えられる。また、全国的な傾向として、3県（山形、福井、長崎）の地域がん登録を用いた年齢調整罹患率は、1985年から2010年まで一貫して増加している<sup>3</sup>。大阪府地域がん登録を用いた研究によると、1950年代生まれの世代で乳がんの罹患リスクが高く、食生活を含む生活習慣の欧米化や、晩婚化や出生率の低下に関連した生殖歴が影響していると示唆される<sup>4</sup>。本報告書の登録率増加にも、検診の普及や登録精度の向上と共に、これらのリスク因子が影響している可能性があり、今後の推移を観察する必要がある。また、肺がんは1997年までは200例以下であったが、2000年以降の増加が著しく、2012年には591例で、約2倍になっていた。子宮頸がん、甲状腺がんも2005年以降に徐々に増加傾向が見られる。結腸と直腸を合わせた大腸がんの登録数が最も多かったのは、1993年から2006年までであり、その後は乳がんにとってかわられた。全体に占める割合は、大腸がんは概ね20%程度で推移しており、乳がんは1993年の15.6%から2012年には22.9%に増加していた。胃がんは約20%から10%まで低下していた。（図8-3、図8-4、表8-2）

## 参考文献

1. 独立行政法人 国立がん研究センター がん対策情報センター. 西本寛, 松田智大, 柴田亜希子, 堀芽久美編. 2015. 全国がん罹患モニタリング集計 Monitoring of Cancer Incidence in Japan, MCIJ 2011年罹患数・率報告.
2. 広島県, 一般財団法人 広島県医師会, 公益財団法人 放射線影響研究所. 広島県医師会地域がん登録運営委員会編. 広島県のがん登録 (平成24年集計).
3. Katanoda K, Hori M, Matsuda T, Shibata A, Nishino Y, Hattori M, Soda M, Ioka A, Sobue T, Nishimoto H. 2015. An updated report on the trends in cancer incidence and mortality in Japan, 1958-2013. Japanese journal of clinical oncology. 45: 390-401.
4. Ito Y, Ioka A, Nakayama T, Tsukuma H, Nakamura T. 2011. Comparison of trends in cancer incidence and mortality in Osaka, Japan, using an age-period-cohort model. Asian Pacific journal of cancer prevention, 12: 879-88.

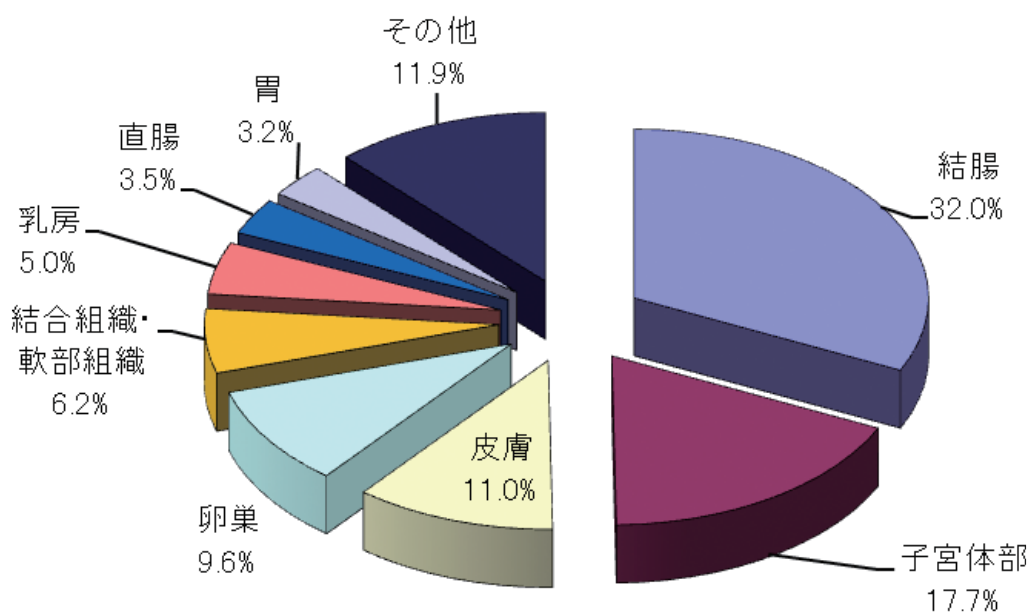
\* 注) Ductal carcinoma in situ, solid type, Noninfiltrating intraductal carcinoma, NOS, Noninfiltrating comedocarcinoma, Noninfiltrating intraductal papillary adenocarcinoma, Noninfiltrating intracystic carcinoma, Intraductal micropapillary carcinoma, Lobular carcinoma in situ, NOS, Intraductal carcinoma and lobular carcinoma in situ, Paget disease, mammary, Paget disease, extramammary で再集計した (下線は実際に計上された組織型)

## 1. 良性腫瘍の部位別登録数・登録割合



(登録数 7,524例)

図1-1 良性腫瘍の部位別登録割合 (男性、2012年)



(登録数 8,178例)

図1-2 良性腫瘍の部位別登録割合 (女性、2012年)

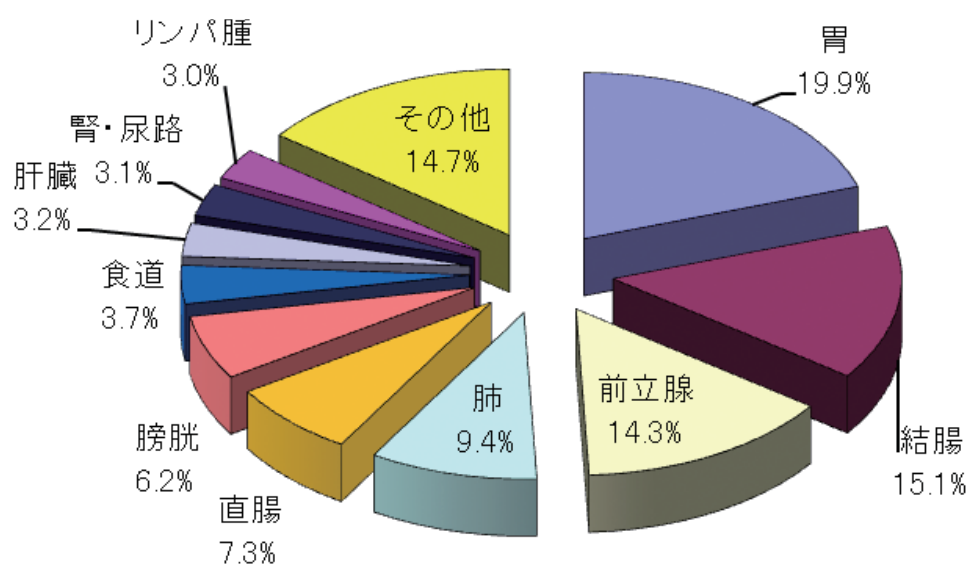
表 1-1 良性腫瘍の部位別登録数・登録割合（男性、2012年）

	登録数	割合（％）
結 腸	4,695	62.4
皮 膚	617	8.2
胃	530	7.0
結合組織・軟部組織	493	6.6
直 腸	459	6.1
そ の 他	730	9.7
合 計	7,524	100.0

表 1-2 良性腫瘍の部位別登録数・登録割合（女性、2012年）

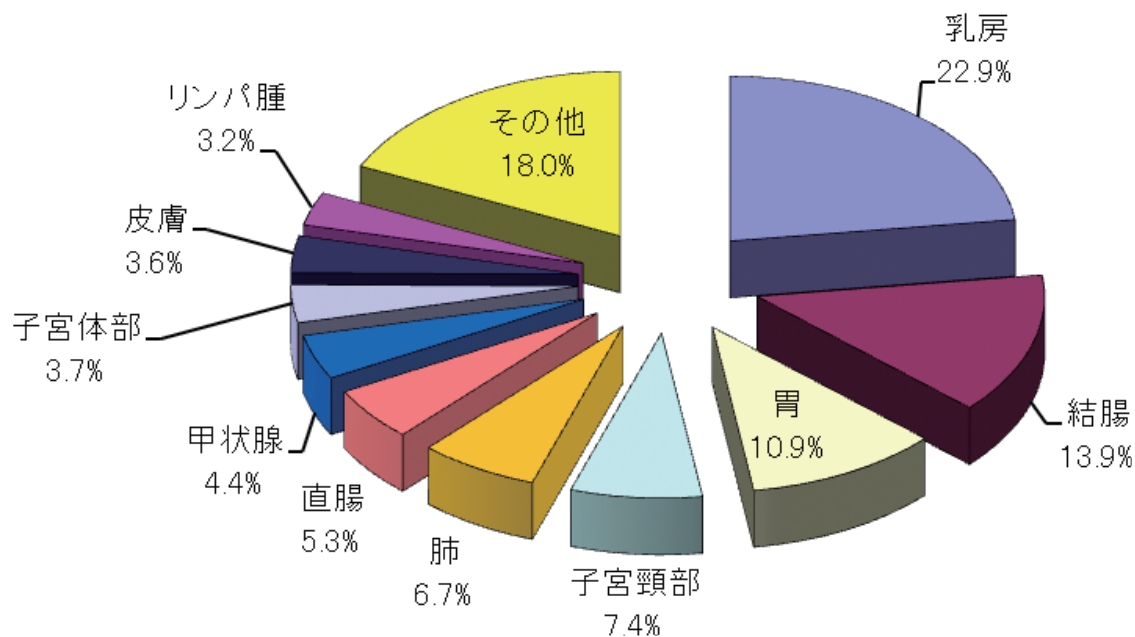
	登録数	割合（％）
結 腸	2,620	32.0
子 宮 体 部	1,449	17.7
皮 膚	901	11.0
卵 巣	784	9.6
結合組織・軟部組織	503	6.2
乳 房	408	5.0
直 腸	283	3.5
胃	260	3.2
そ の 他	970	11.9
合 計	8,178	100.0

## 2. 悪性腫瘍の部位別登録数・登録割合



(登録数 11,599例)

図 2-1 悪性腫瘍の部位別登録割合 (男性、2012年)



(登録数 8,807例)

図 2-2 悪性腫瘍の部位別登録割合 (女性、2012年)



表 2-1 悪性腫瘍の部位別登録数・登録割合（男性、2012年）

	登録数	割合 (%)
胃	2,307	19.9
結腸	1,746	15.1
前立腺	1,663	14.3
肺	1,090	9.4
直腸	844	7.3
膀胱	724	6.2
食道	432	3.7
肝臓	373	3.2
腎・尿路	362	3.1
リンパ腫*	352	3.0
その他	1,706	14.7
合計	11,599	100.0

表 2-2 悪性腫瘍の部位別登録数・登録割合（女性、2012年）

	登録数	割合 (%)
乳房	2,019	22.9
結腸	1,221	13.9
胃	962	10.9
子宮頸部	651	7.4
肺	591	6.7
直腸	463	5.3
甲状腺	385	4.4
子宮体部	325	3.7
皮膚**	319	3.6
リンパ腫*	285	3.2
その他	1,586	18.0
合計	8,807	100.0

\* 白血病は含まない

\*\* 悪性黒色腫は含まない

### 3. 二次保健医療圏別・部位別にみた悪性腫瘍登録数・登録率 (人口10万対、1985年日本モデル人口で調整)

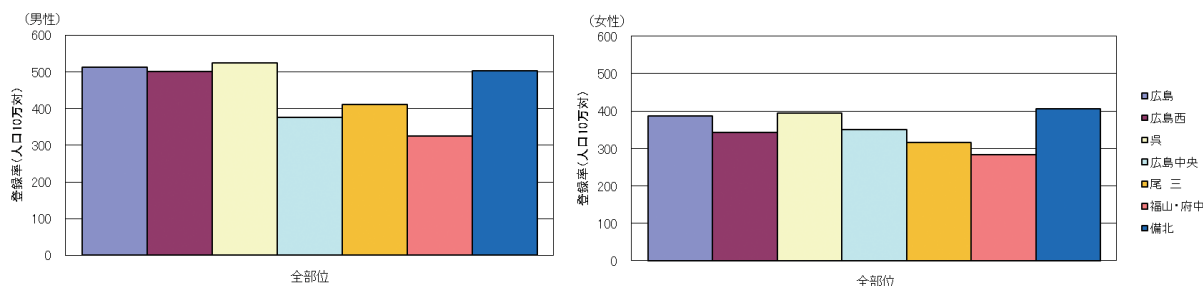


図3-1 二次保健医療圏別にみた悪性腫瘍全部位の登録率

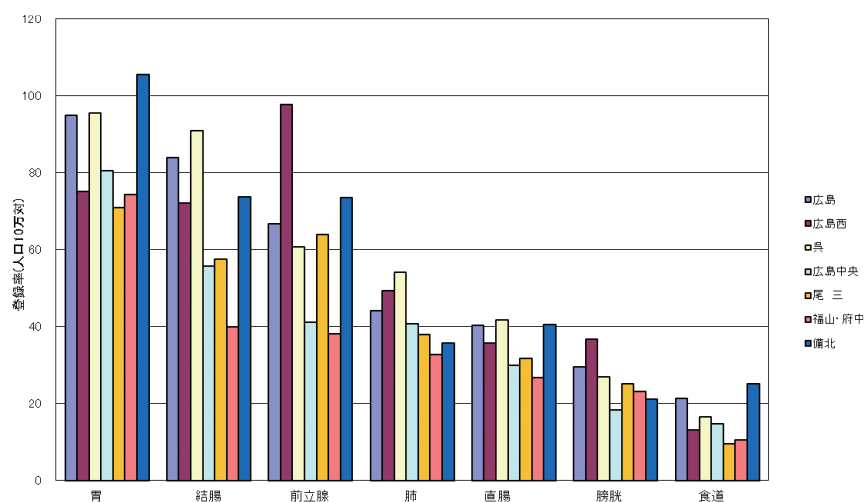


図3-2 二次保健医療圏別・部位別にみた悪性腫瘍の登録率（男性、2012年）

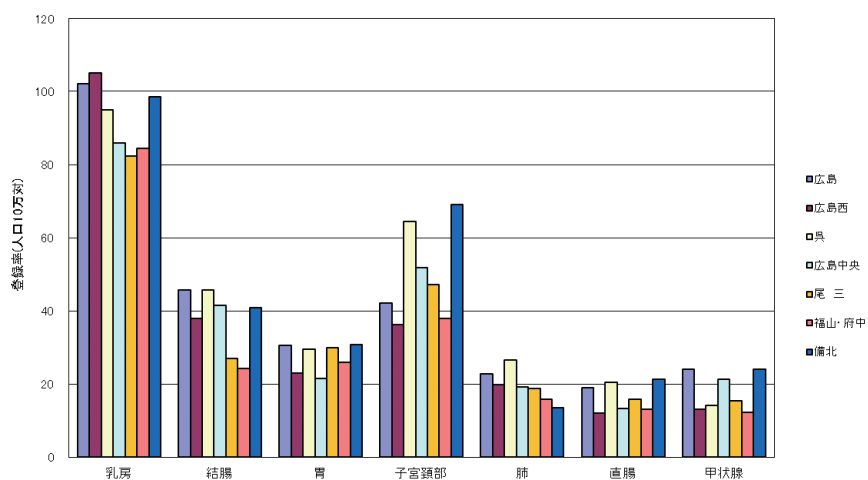


図3-3 二次保健医療圏別・部位別にみた悪性腫瘍の登録率（女性、2012年）

表 3-1 二次保健医療圏別・部位別にみた悪性腫瘍登録数・登録率 男性（人口10万対）

医療圏 部 位	登 録 数（登録率）						
	広 島	広島西	呉	広島中央	尾 三	福山・府中	備 北
胃	1,026 (94.9)	103 (75.1)	257 (95.4)	145 (80.6)	199 (71.0)	345 (74.3)	105 (105.5)
結 腸	858 (84.0)	94 (72.2)	237 (90.9)	97 (55.7)	148 (57.5)	174 (40.0)	73 (73.7)
前 立 腺	754 (66.7)	135 (97.6)	185 (60.7)	78 (41.2)	180 (64.0)	192 (38.2)	76 (73.6)
肺	459 (44.1)	66 (49.3)	140 (54.2)	71 (40.8)	100 (38.0)	159 (32.7)	39 (35.7)
直 腸	397 (40.4)	42 (35.7)	92 (41.8)	48 (30.0)	77 (31.8)	109 (26.7)	35 (40.6)
膀 胱	328 (29.6)	51 (36.7)	81 (26.9)	36 (18.3)	63 (25.1)	114 (23.1)	25 (21.1)
食 道	221 (21.4)	17 (13.1)	44 (16.6)	27 (14.8)	26 (9.5)	45 (10.5)	20 (25.2)
そ の 他	1,284 (131.6)	144 (121.3)	330 (138.6)	161 (94.2)	268 (113.5)	329 (80.2)	121 (126.9)
合 計	5,327 (512.7)	652 (501.0)	1,366 (525.2)	663 (375.8)	1,061 (410.5)	1,467 (325.6)	494 (502.3)

医療圏不明 43例 県外 525例

表 3-2 二次保健医療圏別・部位別にみた悪性腫瘍登録数・登録率 女性（人口10万対）

医療圏 部 位	登 録 数（登録率）						
	広 島	広島西	呉	広島中央	尾 三	福山・府中	備 北
乳 房	926 (102.2)	108 (105.0)	202 (95.0)	120 (85.8)	167 (82.4)	311 (84.5)	65 (98.6)
結 腸	589 (45.6)	64 (37.9)	154 (45.8)	79 (41.5)	88 (27.0)	139 (24.2)	54 (40.8)
胃	415 (30.5)	41 (22.9)	115 (29.6)	55 (21.5)	99 (29.9)	134 (25.9)	48 (30.8)
子宮頸部	293 (42.2)	26 (36.2)	69 (64.4)	52 (51.9)	51 (47.2)	94 (37.9)	28 (69.1)
肺	277 (22.8)	27 (19.8)	72 (26.5)	36 (19.1)	61 (18.8)	82 (15.9)	20 (13.6)
直 腸	203 (18.9)	18 (12.1)	58 (20.5)	29 (13.3)	46 (15.9)	57 (13.1)	27 (21.2)
甲 状 腺	208 (24.1)	13 (13.1)	29 (14.1)	34 (21.2)	25 (15.3)	42 (12.3)	16 (24.0)
そ の 他	1,123 (99.7)	120 (95.1)	278 (98.0)	171 (95.5)	250 (78.6)	336 (69.9)	102 (107.6)
合 計	4,034 (386.0)	417 (342.1)	977 (393.8)	576 (349.8)	787 (315.1)	1,195 (283.6)	360 (405.7)

医療圏不明 35例 県外 424例

注) 登録率は人口10万対、1985年日本モデル人口で調整

#### 4. 医療圏別にみた悪性腫瘍の登録精度（I/M比）

表4 二次保健医療圏別にみた悪性腫瘍の登録精度

	男 性			女 性		
	登録数	死亡数	I/M 比	登録数	死亡数	I/M 比
広島県全体	11,074	4,907	2.3	8,383	3,307	2.5
広 島	5,327	1,970	2.7	4,035	1,350	3.0
広 島 西	652	238	2.7	417	159	2.6
呉	1,366	590	2.3	977	414	2.4
広 島 中 央	664	341	1.9	576	244	2.4
尾 三	1,061	583	1.8	788	365	2.2
福山・府中	1,467	946	1.6	1,195	616	1.9
備 北	494	239	2.1	360	159	2.3

注1) 広島県外住所のものは除く

注2) 医療圏不明があるために、圏域別登録数の合計は県全体と一致しない

## 5. 悪性腫瘍の部位別死亡者数・死亡割合

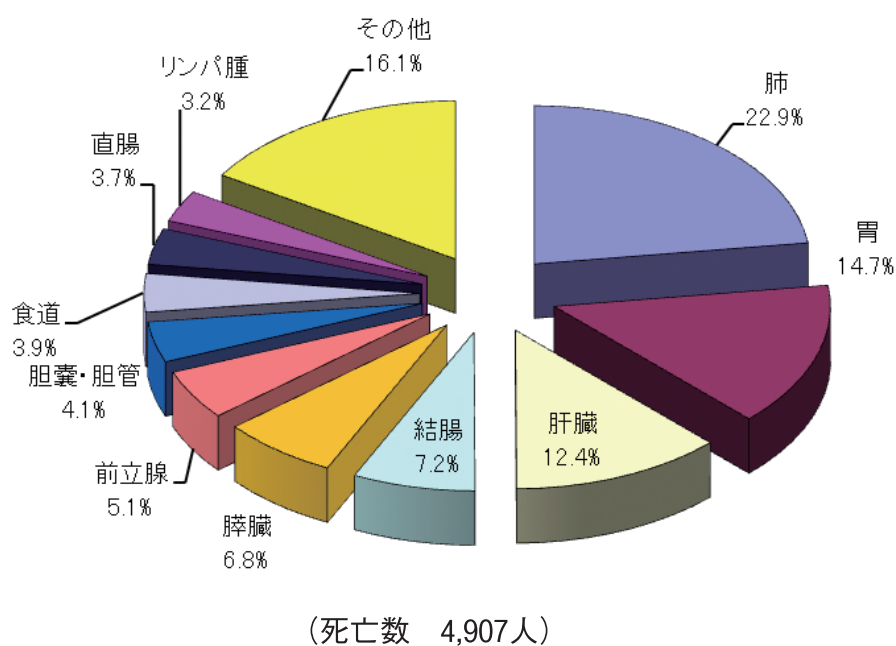


図5-1 悪性腫瘍死亡の部位別割合 (男性、2012年)

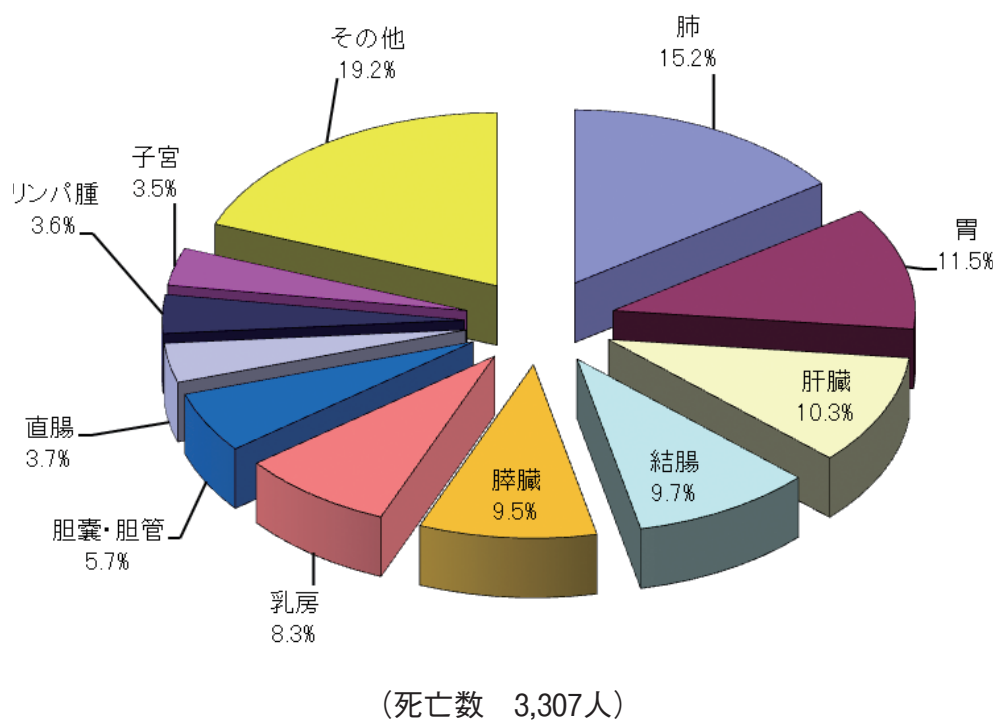


図5-2 悪性腫瘍死亡の部位別割合 (女性、2012年)

表 5-1 悪性腫瘍の部位別死亡者数・死亡割合（男性、2012年）

	死亡数	割合 (%)
肺	1,122	22.9
胃	721	14.7
肝 臓	607	12.4
結 腸	352	7.2
膵 臓	333	6.8
前 立 腺	250	5.1
胆嚢・胆管	203	4.1
食 道	191	3.9
直 腸	181	3.7
リンパ腫 *	158	3.2
そ の 他	789	16.1
合 計	4,907	100.0

表 5-2 悪性腫瘍の部位別死亡者数・死亡割合（女性、2012年）

	死亡数	割合 (%)
肺	504	15.2
胃	379	11.5
肝 臓	339	10.3
結 腸	320	9.7
膵 臓	314	9.5
乳 房	274	8.3
胆嚢・胆管	188	5.7
直 腸	121	3.7
リンパ腫 *	119	3.6
子 宮	115	3.5
そ の 他	634	19.2
合 計	3,307	100.0

\* 白血病は含まない

## 6. 二次保健医療圏別・部位別にみた悪性腫瘍死亡数・死亡率 (人口10万対、1985年日本モデル人口で調整)

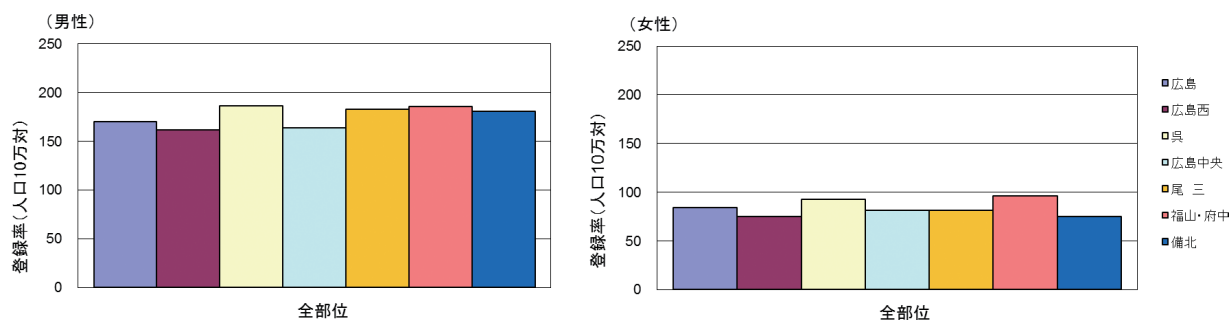


図 6-1 二次保健医療圏別にみた悪性腫瘍全部位の死亡率

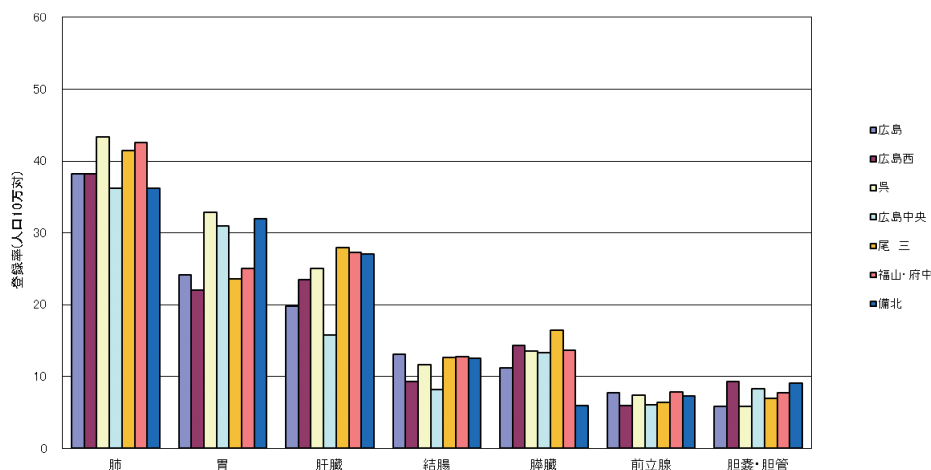


図 6-2 二次保健医療圏別・部位別にみた悪性腫瘍の死亡率 (男性、2012年)

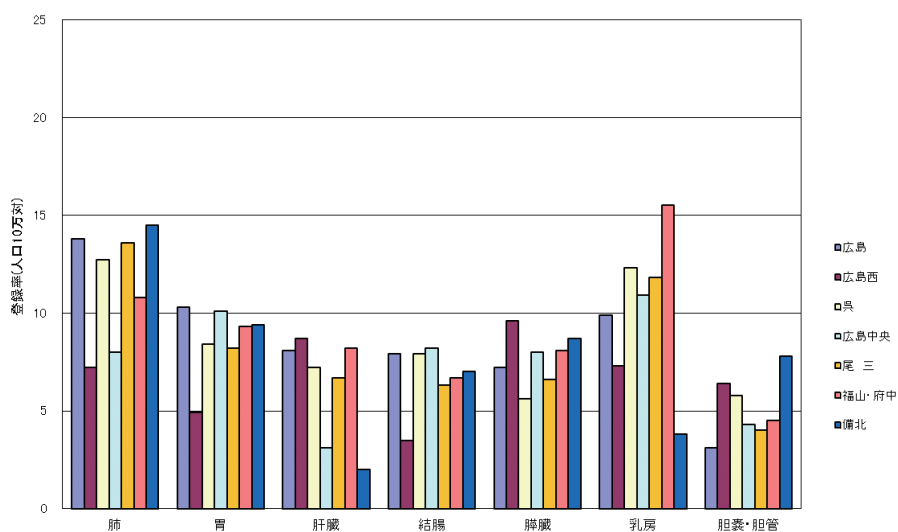


図 6-3 二次保健医療圏別・部位別にみた悪性腫瘍の死亡率 (女性、2012年)

表6-1 二次保健医療圏別・部位別にみた悪性腫瘍死亡数・死亡率 男性（人口10万対）

医療圏 部 位	死 亡 数（死亡率）						
	広 島	広島西	呉	広島中央	尾 三	福山・府中	備 北
肺	445 (38.2)	54 (38.2)	142 (43.3)	74 (36.2)	134 (41.5)	225 (42.6)	48 (36.2)
胃	273 (24.1)	35 (22.0)	102 (32.9)	66 (31.0)	81 (23.6)	125 (25.1)	39 (32.0)
肝 臓	227 (19.8)	32 (23.5)	71 (25.0)	33 (15.8)	81 (28.0)	131 (27.3)	32 (27.1)
結 腸	154 (13.1)	14 (9.3)	41 (11.6)	18 (8.2)	43 (12.7)	63 (12.8)	19 (12.5)
膵 臓	126 (11.2)	19 (14.3)	42 (13.5)	25 (13.3)	48 (16.4)	66 (13.7)	7 (6.0)
前 立 腺	103 (7.7)	13 (6.0)	31 (7.4)	13 (6.1)	25 (6.4)	49 (7.9)	16 (7.3)
胆嚢・胆管	74 (5.8)	14 (9.3)	19 (5.8)	20 (8.3)	21 (7.0)	45 (7.8)	10 (9.1)
そ の 他	568 (50.1)	57 (39.1)	142 (47.2)	92 (44.6)	150 (47.6)	242 (48.7)	68 (50.7)
合 計	1,970 (170.1)	238 (161.7)	590 (186.7)	341 (163.6)	583 (183.2)	946 (185.8)	239 (180.9)

表6-2 二次保健医療圏別・部位別にみた悪性腫瘍死亡数・死亡率 女性（人口10万対）

医療圏 部 位	死 亡 数（死亡率）						
	広 島	広島西	呉	広島中央	尾 三	福山・府中	備 北
肺	216 (13.8)	20 (7.2)	63 (12.7)	30 (8.0)	69 (13.6)	81 (10.8)	25 (14.5)
胃	163 (10.3)	14 (4.9)	40 (8.4)	32 (10.1)	42 (8.2)	68 (9.3)	20 (9.4)
肝 臓	152 (8.1)	23 (8.7)	45 (7.2)	13 (3.1)	37 (6.7)	60 (8.2)	9 (2.0)
結 腸	144 (7.9)	12 (3.5)	36 (7.9)	30 (8.2)	31 (6.3)	48 (6.7)	19 (7.0)
膵 臓	126 (7.2)	19 (9.6)	36 (5.6)	21 (8.0)	32 (6.6)	63 (8.1)	17 (8.7)
乳 房	119 (9.9)	11 (7.3)	30 (12.3)	21 (10.9)	26 (11.8)	60 (15.5)	7 (3.8)
胆嚢・胆管	58 (3.1)	13 (6.4)	31 (5.8)	13 (4.3)	25 (4.0)	38 (4.5)	10 (7.8)
そ の 他	372 (23.8)	47 (27.1)	133 (32.4)	84 (28.4)	103 (24.1)	198 (33.1)	52 (22.0)
合 計	1,350 (84.1)	159 (74.9)	414 (92.3)	244 (81.1)	365 (81.2)	616 (96.3)	159 (75.2)

注) 死亡率は人口10万対、1985年日本モデル人口で調整



## 7. (参考) 広島県および全国の悪性腫瘍死亡数・死亡率（人口10万対）

表7-1 広島県および全国の悪性腫瘍死亡数・死亡率（男性、2012年）

	全部位		肺		胃		肝 臓	
	死亡数	死亡率	死亡数	死亡率	死亡数	死亡率	死亡数	死亡率
広島県	4,885	177.6	1,117	40.3	719	26.1	603	22.7
全 国	215,110	175.7	51,372	41.0	32,206	26.1	20,060	16.7

	結 腸		膵 臓		前立腺		胆嚢・胆管	
	死亡数	死亡率	死亡数	死亡率	死亡数	死亡率	死亡数	死亡率
広島県	350	12.5	332	12.7	250	7.2*	203	6.9
全 国	16,006	13.0	15,517	13.3	11,143	7.6	8,964	6.8

表7-2 広島県および全国の悪性腫瘍死亡数・死亡率（女性、2012年）

	全部位		肺		胃		肝 臓	
	死亡数	死亡率	死亡数	死亡率	死亡数	死亡率	死亡数	死亡率
広島県	3,281	87.2	496	12.6	376	9.7	338	7.3
全 国	145,853	90.3	20,146	11.4	16,923	9.6	10,630	5.6

	結 腸		膵 臓		乳 房		胆嚢・胆管	
	死亡数	死亡率	死亡数	死亡率	死亡数	死亡率	死亡数	死亡率
広島県	318	7.6	311	7.5	273	11.1	186	4.3
全 国	16,171	8.7	14,399	8.4	12,529	11.5	9,245	4.4

資料) 人口動態統計

注) 死亡率は人口10万対、1985年日本モデル人口で調整

\* 広島県のがん登録（平成24年集計）より引用

## 8. (参考) 悪性腫瘍の主要部位別登録数・登録割合の経年変化 (1993～2012年)

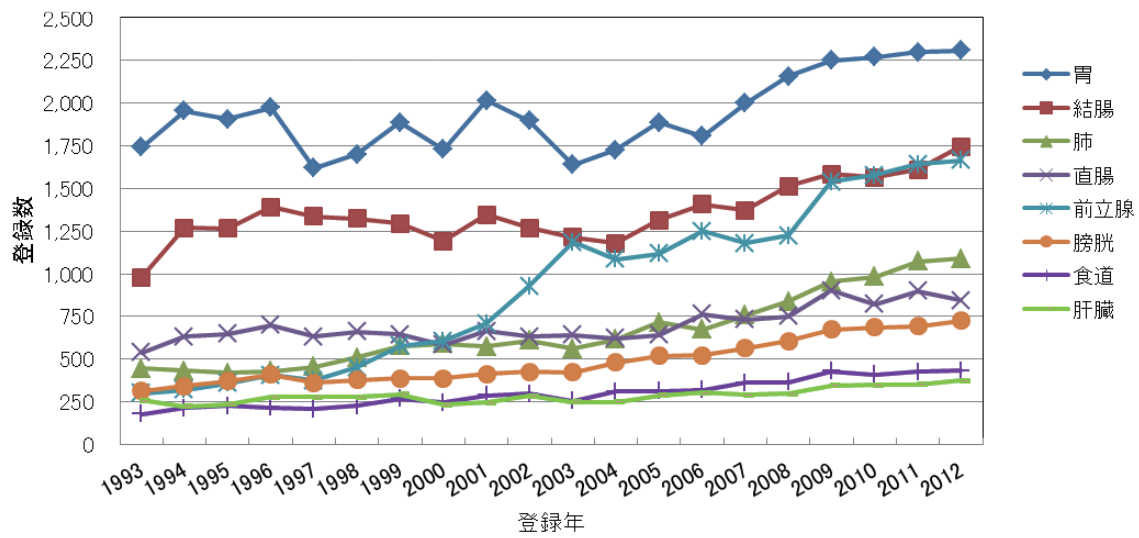


図 8 - 1 悪性腫瘍の主要部位別登録数の経年変化 (男性)

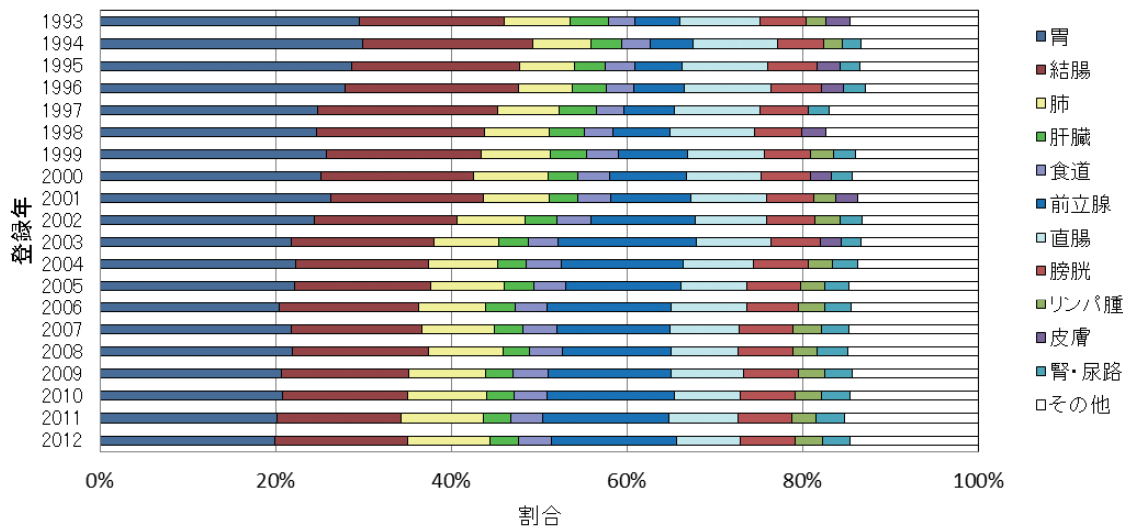


図 8 - 2 悪性腫瘍の主要部位別登録数の割合の経年変化 (男性)

表 8-1 悪性腫瘍の主要部位別登録数と割合（男性、1993-2012年）

	胃	結腸	肺	肝臓	食道	前立腺	直腸	膀胱	リンパ腫	皮膚	腎・尿路	その他	合計
1993	1,743 (29.4)	980 (16.6)	444 (7.5)	258 (4.4)	177 (3.0)	300 (5.1)	539 (9.1)	312 (5.3)	135 (2.3)	163 (2.8)	-	868 (14.7)	5,919 (100.0)
1994	1,953 (29.9)	1,269 (19.4)	432 (6.6)	223 (3.4)	215 (3.3)	321 (4.9)	631 (9.6)	341 (5.2)	135 (2.1)	-	141 (2.2)	879 (13.4)	6,540 (100.0)
1995	1,907 (28.6)	1,266 (19.0)	418 (6.3)	236 (3.5)	226 (3.4)	359 (5.4)	647 (9.7)	372 (5.6)	-	177 (2.7)	145 (2.2)	905 (13.6)	6,658 (100.0)
1996	1,972 (27.9)	1,392 (19.7)	429 (6.1)	279 (3.9)	218 (3.1)	405 (5.7)	699 (9.9)	409 (5.8)	-	179 (2.5)	171 (2.4)	916 (13.0)	7,069 (100.0)
1997	1,620 (24.8)	1,337 (20.5)	455 (7.0)	277 (4.2)	208 (3.2)	375 (5.7)	633 (9.7)	363 (5.6)	-	-	154 (2.4)	1,115 (17.1)	6,537 (100.0)
1998	1,699 (24.6)	1,325 (19.2)	510 (7.4)	278 (4.0)	226 (3.3)	450 (6.5)	660 (9.5)	376 (5.4)	-	183 (2.6)	-	1,209 (17.5)	6,916 (100.0)
1999	1,888 (25.7)	1,294 (17.6)	578 (7.9)	295 (4.0)	268 (3.7)	576 (7.9)	646 (8.8)	386 (5.3)	186 (2.5)	-	186 (2.5)	1,031 (14.1)	7,334 (100.0)
2000	1,728 (25.1)	1,190 (17.3)	589 (8.6)	232 (3.4)	245 (3.6)	605 (8.8)	584 (8.5)	388 (5.6)	-	163 (2.4)	164 (2.4)	992 (14.4)	6,880 (100.0)
2001	2,016 (26.2)	1,346 (17.5)	575 (7.5)	246 (3.2)	289 (3.8)	708 (9.2)	665 (8.6)	413 (5.4)	187 (2.4)	194 (2.5)	-	1,064 (13.8)	7,703 (100.0)
2002	1,895 (24.3)	1,269 (16.3)	608 (7.8)	283 (3.6)	297 (3.8)	929 (11.9)	633 (8.1)	425 (5.5)	227 (2.9)	-	191 (2.4)	1,039 (13.3)	7,796 (100.0)
2003	1,638 (21.8)	1,214 (16.1)	560 (7.4)	248 (3.3)	255 (3.4)	1,186 (15.8)	640 (8.5)	422 (5.6)	-	175 (2.3)	174 (2.3)	1,008 (13.4)	7,520 (100.0)
2004	1,725 (22.2)	1,179 (15.2)	614 (7.9)	249 (3.2)	310 (4.0)	1,085 (14.0)	621 (8.0)	482 (6.2)	216 (2.8)	-	222 (2.9)	1,074 (13.8)	7,777 (100.0)
2005	1,886 (22.1)	1,314 (15.4)	714 (8.4)	287 (3.4)	313 (3.7)	1,116 (13.1)	642 (7.5)	518 (6.1)	236 (2.8)	-	230 (2.7)	1,265 (14.8)	8,521 (100.0)
2006	1,806 (20.4)	1,406 (15.9)	674 (7.6)	302 (3.4)	320 (3.6)	1,251 (14.1)	762 (8.6)	521 (5.9)	264 (3.0)	-	261 (2.9)	1,294 (14.6)	8,861 (100.0)
2007	1,999 (21.7)	1,373 (14.9)	757 (8.2)	292 (3.2)	363 (3.9)	1,179 (12.8)	730 (7.9)	564 (6.1)	298 (3.2)	-	291 (3.2)	1,356 (14.7)	9,202 (100.0)
2008	2,156 (21.9)	1,514 (15.4)	838 (8.5)	298 (3.0)	365 (3.7)	1,223 (12.4)	752 (7.6)	607 (6.2)	274 (2.8)	-	340 (3.5)	1,472 (15.0)	9,839 (100.0)
2009	2,250 (20.6)	1,584 (14.5)	953 (8.7)	344 (3.1)	429 (3.9)	1,538 (14.1)	902 (8.3)	672 (6.2)	333 (3.0)	-	342 (3.1)	1,574 (14.4)	10,921 (100.0)
2010	2,269 (20.7)	1,565 (14.3)	983 (9.0)	347 (3.2)	411 (3.8)	1,579 (14.4)	821 (7.5)	685 (6.3)	327 (3.0)	-	366 (3.3)	1,603 (14.6)	10,956 (100.0)
2011	2,297 (20.1)	1,609 (14.1)	1,071 (9.4)	351 (3.1)	426 (3.7)	1,642 (14.4)	899 (7.9)	692 (6.1)	318 (2.8)	-	363 (3.2)	1,751 (15.3)	11,419 (100.0)
2012	2,307 (19.9)	1,746 (15.1)	1,090 (9.4)	373 (3.2)	432 (3.7)	1,663 (14.3)	844 (7.3)	724 (6.2)	352 (3.0)	-	362 (3.1)	1,706 (14.7)	11,599 (100.0)

上位10部位について集計した。「-」の登録数はその他に含まれる。

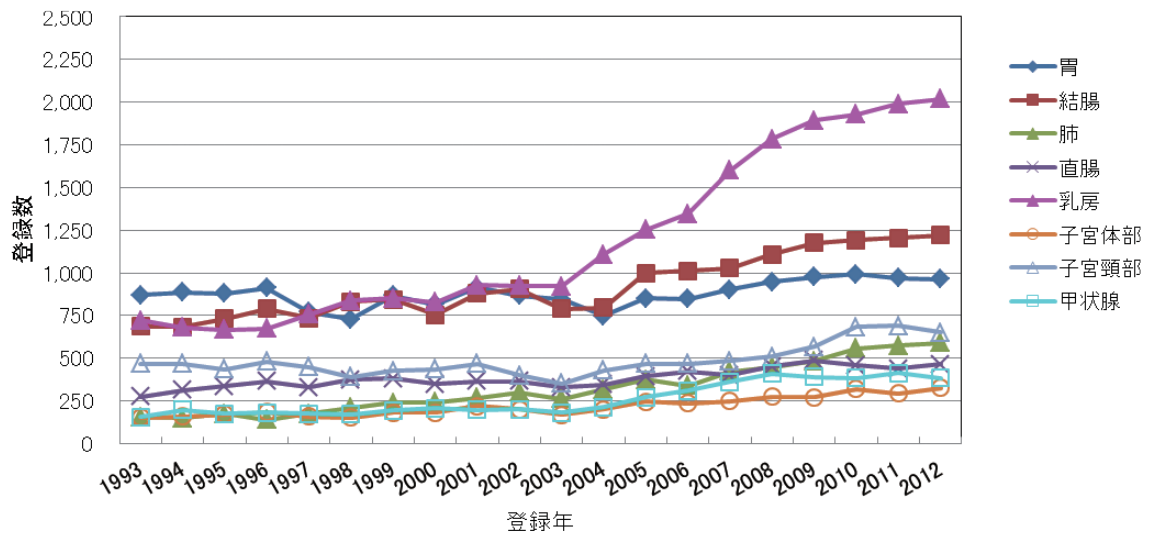


図 8 - 3 悪性腫瘍の主要部位別登録数の経年変化（女性）

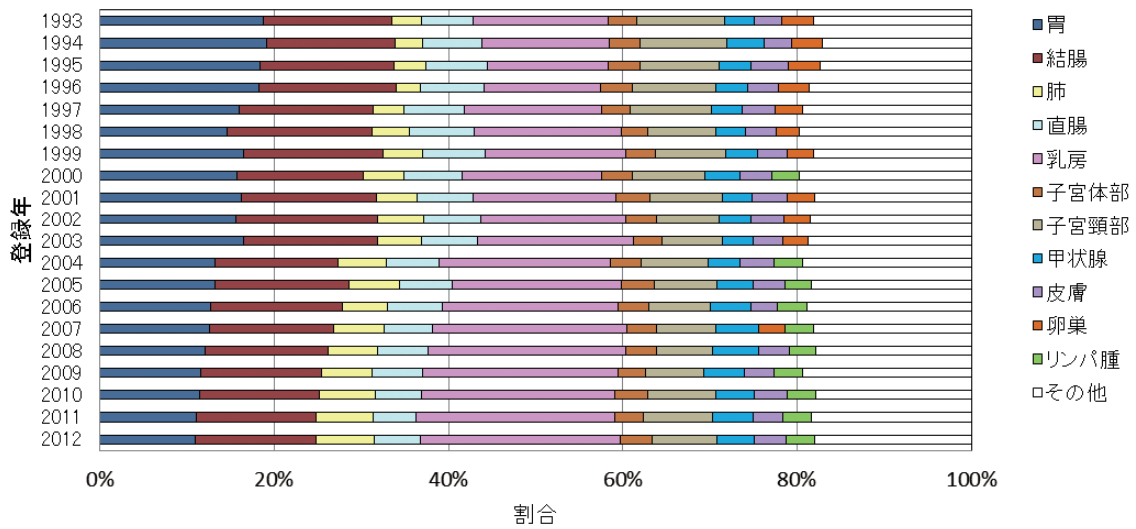


図 8 - 4 悪性腫瘍の主要部位別登録数の割合の経年変化（女性）

表 8-2 悪性腫瘍の主要部位別登録数と割合（女性、1993～2012年）

	胃	結腸	肺	直腸	乳房	子宮体部	子宮頸部	甲状腺	皮膚	卵巣	リンパ腫	その他	合計
1993	870 (18.7)	687 (14.8)	156 (3.4)	274 (5.9)	723 (15.6)	153 (3.3)	468 (10.1)	155 (3.3)	149 (3.2)	168 (3.6)	—	842 (18.1)	4,645 (100.0)
1994	885 (19.1)	683 (14.8)	148 (3.2)	313 (6.8)	680 (14.7)	158 (3.4)	466 (10.1)	196 (4.2)	144 (3.1)	163 (3.5)	—	793 (17.1)	4,629 (100.0)
1995	880 (18.4)	733 (15.3)	176 (3.7)	335 (7.0)	667 (13.9)	173 (3.6)	435 (9.1)	175 (3.7)	202 (4.2)	175 (3.7)	—	831 (17.4)	4,782 (100.0)
1996	912 (18.2)	789 (15.8)	141 (2.8)	364 (7.3)	674 (13.5)	183 (3.7)	480 (9.6)	182 (3.6)	173 (3.5)	177 (3.5)	—	933 (18.6)	5,008 (100.0)
1997	770 (16.0)	736 (15.3)	175 (3.6)	330 (6.9)	757 (15.7)	159 (3.3)	447 (9.3)	174 (3.6)	178 (3.7)	155 (3.2)	—	930 (19.3)	4,811 (100.0)
1998	727 (14.6)	831 (16.7)	209 (4.2)	373 (7.5)	839 (16.8)	153 (3.1)	389 (7.8)	170 (3.4)	172 (3.5)	136 (2.7)	—	981 (19.7)	4,980 (100.0)
1999	868 (16.5)	845 (16.0)	239 (4.5)	381 (7.2)	850 (16.1)	181 (3.4)	425 (8.1)	195 (3.7)	176 (3.3)	161 (3.1)	—	954 (18.1)	5,275 (100.0)
2000	814 (15.7)	754 (14.5)	241 (4.6)	350 (6.7)	827 (15.9)	182 (3.5)	434 (8.4)	208 (4.0)	190 (3.7)	—	168 (3.2)	1,021 (19.7)	5,189 (100.0)
2001	916 (16.2)	878 (15.5)	267 (4.7)	364 (6.4)	928 (16.4)	220 (3.9)	468 (8.3)	198 (3.5)	228 (4.0)	178 (3.1)	—	1,016 (17.9)	5,661 (100.0)
2002	868 (15.6)	905 (16.2)	299 (5.4)	365 (6.5)	924 (16.6)	200 (3.6)	401 (7.2)	201 (3.6)	209 (3.7)	169 (3.0)	—	1,033 (18.5)	5,574 (100.0)
2003	844 (16.4)	788 (15.4)	262 (5.1)	330 (6.4)	920 (17.9)	168 (3.3)	353 (6.9)	180 (3.5)	176 (3.4)	151 (2.9)	—	959 (18.7)	5,131 (100.0)
2004	748 (13.2)	797 (14.1)	317 (5.6)	344 (6.1)	1,109 (19.6)	202 (3.6)	430 (7.6)	212 (3.7)	216 (3.8)	—	187 (3.3)	1,096 (19.4)	5,658 (100.0)
2005	852 (13.2)	997 (15.4)	375 (5.8)	394 (6.1)	1,252 (19.4)	245 (3.8)	466 (7.2)	270 (4.2)	236 (3.6)	—	195 (3.0)	1,185 (18.3)	6,467 (100.0)
2006	848 (12.7)	1,011 (15.2)	338 (5.1)	422 (6.3)	1,347 (20.2)	237 (3.6)	467 (7.0)	310 (4.6)	203 (3.0)	—	227 (3.4)	1,258 (18.9)	6,668 (100.0)
2007	903 (12.6)	1,026 (14.3)	421 (5.9)	400 (5.6)	1,601 (22.3)	249 (3.5)	483 (6.7)	360 (5.0)	—	216 (3.0)	231 (3.2)	1,304 (18.1)	7,194 (100.0)
2008	947 (12.1)	1,109 (14.1)	449 (5.7)	453 (5.8)	1,782 (22.7)	274 (3.5)	511 (6.5)	410 (5.2)	285 (3.6)	—	236 (3.0)	1,400 (17.8)	7,856 (100.0)
2009	975 (11.6)	1,174 (13.9)	483 (5.7)	486 (5.8)	1,892 (22.4)	272 (3.2)	566 (6.7)	390 (4.6)	281 (3.3)	—	282 (3.3)	1,632 (19.4)	8,433 (100.0)
2010	991 (11.4)	1,192 (13.8)	558 (6.4)	458 (5.3)	1,928 (22.2)	321 (3.7)	682 (7.9)	383 (4.4)	327 (3.8)	—	284 (3.3)	1,544 (17.8)	8,668 (100.0)
2011	970 (11.1)	1,206 (13.7)	574 (6.5)	439 (5.0)	1,991 (22.7)	294 (3.4)	691 (7.9)	412 (4.7)	296 (3.4)	—	295 (3.4)	1,607 (18.3)	8,775 (100.0)
2012	962 (10.9)	1,221 (13.9)	591 (6.7)	463 (5.3)	2,019 (22.9)	325 (3.7)	651 (7.4)	385 (4.4)	319 (3.6)	—	285 (3.2)	1,586 (18.0)	8,807 (100.0)

上位10部位について集計した。「—」の登録数はその他に含まれる。